

收受年月日	議長	事務局長	書記
29.10.30			
第108号			

平成 29 年 10 月 30 日

埴町議会議長 大縄武夫 様

経済常任委員会委員長 鈴木安次



### 所管事務調査報告書

本委員会は、所管事務の調査を下記のとおり実施したので、埴町議会会議規則第 77 条の規定により報告する。

#### 記

#### 1 調査事件

- 1 都市交流事業の実績と概要について
- 2 道の駅集荷システムの進捗状況について
- 3 地震計の設置場所確認調査

#### 2 調査の経過

本委員会は、都市交流事業の実績と概要、道の駅集荷システムの進捗状況、地震計の設置場所について担当課からの聞き取り及び現地調査を行った。

- (1) 調査日 平成 29 年 10 月 12 日(木) 10:00~12:02
- (2) 出席委員 鈴木安次、小峰由久、小林達信、吉田克則、高縁 光、青砥與藏、大縄武夫
- (3) 説明員 まち振興課長、農林振興係長、生活環境課長
- (4) 職務出席者 議会事務局長、書記
- (5) 場 所 委員会室及び道の駅はなわ、地震計設置場所

#### 3 調査の結果

##### (1) 結果

1. 都市交流事業の実績を見ると道の駅はなわ、物産協会、を中心とした物品の販売がほとんどである。本来であれば湯遊ランドはなわ、道の駅はなわを中心に農家や商店の協力を得ながら人の交流を主体とした事業にしていかなければならない。最近物産協会の体験型事業が盛んになりつつあるのは良い傾向である。

これからは様々なオーナー制度（例えばジャガイモ、サツマイモ等一

畝ごとにオーナーを募り植え付けから掘り取り体験まで)により積極的に埴町に来ていただいで相互交流できることが理想である。

又、町長も町のトップとして都市交流事業に積極的に参加し、埴町のPR活動を行っていただきたい。

2. 道の駅集荷システム事業は400万円の予算額であるが道の駅に野菜運搬が困難者を対象としている為、集荷申込者が5人とあまりに少なすぎる。夏野菜が不足時に集荷対象になっていない人の野菜を集荷して抗議を受けて集荷を取りやめにしたとの話も聞いているのもっと綿密な計画を立てる必要がある。

年間を通して午後になると販売できる野菜が無くなる状況であるにもかかわらず、たまに二便集荷があるにしても朝一便のみの集荷では野菜不足の確保には程遠い場当たりの事業である。

常時二便集荷体制であれば、前日の売れ残り野菜を朝一便の集荷時に返品も可能である。レンタカー、運転手も一便集荷ではたまに仕事があるにしてももったいない話である。

これからは道の駅はなわから計画的な事業要望があつてから予算を付けなければ、貴重な税金が無駄になる可能性がある。

昨年の振興計画に載ってすぐに取りやめになった事業もあるので、この件を振興計画に載せるには綿密な計画のもとに載せることを望む。

3. 地震計の設置場所確認調査

地震があるたびに埴町の震度が周辺町村の震度より低いので町民が不思議に思っているので、埴町に設置されている地震計の設置場所の確認調査をした。

設置場所は役場庁舎裏側にあり、防災庁舎建設時にボーリング調査した結果では地盤が非常に動きにくい構造になっているようだ。

むしろ周辺町村の設置場所が高台や盛土など動きやすい構造の所に設置されている可能性が高い。

これからも町民の安心安全の為に防災意識の高揚に努めていかなければならない。

- (2) 委員報告書

別紙のとおり

議員派遣  
委員派遣

## 調査研修等報告書

平成 29 年 10 月 13 日

議会議長  
委員会委員長 様

提出者 鈴木安次

派遣目的 (調査等 名称)	経済常任委員会合同所管事務調査		
派遣の 日時	平成 29 年 10 月 12 日	派遣先 (場所)	委員会室及び道の駅はなわ
内容	<p>1、 都市交流事業の実績と概要</p> <p>2、 道の駅集荷システムの進捗状況</p> <p>3、 地震計の設置場所確認調査</p>		
派遣 結果 (意見 及び 感想)	<p>1、 都市交流事業の実績を見ると道の駅はなわ、物産協会、を中心とした物品の販売がほとんどである。 本来であれば湯遊ランドはなわ、道の駅はなわを中心に農家や商店の協力を得ながら人の交流を主体とした事業にしていかなければならない。 最近物産協会の体験型事業が盛んになりつつあるのは良い傾向である。 これからは様々なオーナー制度(例えばジャガイモ、サツマイモ等一畝ごとにオーナーを募り植え付けから掘り取り体験まで)により積極的に埴町に来ていただいて相互交流できることが理想である。 又、町長も町のトップとして都市交流事業に積極的に参加し、埴町の PR 活動を行っていただきたい。</p> <p>2、 道の駅集荷システム事業は 400 万円の予算額であるが道の駅に野菜運搬が困難者を対象としている為、集荷申込者が 5 人とあまりに少なすぎる。 夏野菜が不足時に集荷対象になっていない人の野菜を集荷して抗議を受けて集荷を取りやめにしたとの話も聞いているのでもっと綿密な計画を立てる必要がある。 年間を通して午後になると販売できる野菜が無くなる状況であるにもかかわらず、たまに二便集荷があるにしても朝一便のみの集荷では野菜不足の確保には程遠い場当たりの事業である。</p>		

	<p>常時二便集荷体制であれば、前日の売れ残り野菜を朝一便の集荷時に返品も可能である。</p> <p>レンタカー、運転手も一便集荷ではたまに仕事があるにしてももったいない話である。</p> <p>これからは道の駅はなわから計画的な事業要望があつてから予算を付けなければ、貴重な税金が無駄になる可能性がある。</p> <p>昨年の振興計画に載ってすぐに取りやめになった事業もあるので、この件を振興計画に載せるには綿密な計画のもとに載せることを望む。</p> <p>3、 地震計の設置場所確認調査</p> <p>地震があるたびに埴町の震度が周辺町村の震度より低いので町民が不思議に思っているので、埴町に設置されている地震計の設置場所の確認調査をした。</p> <p>設置場所は役場庁舎裏側にあり、防災庁舎建設時にボーリング調査した結果では地盤が非常に動きにくい構造になっているようだ。</p> <p>むしろ周辺町村の設置場所が高台や盛土など動きやすい構造の所に設置されている可能性が高い。</p> <p>これからも町民の安心安全の為に防災意識の高揚に努めていかなければならない。</p>

# 研修等報告書

氏名	大縄 武夫	提出年 月日	平成 29 年 10 月 16 日
研修等 名称	経済常任委員会所管事務調査		
研修等 の日時	平成 29 年 10 月 12 日(木)	場所	道の駅はなわ、委員会室
意見 感想	①都市交流事業については、経費に対して売り上げはある程度ある。		
	毎回出張している関係者に感謝します。		
	②道の駅集荷システム進捗状況に於いては、高齢者が多いため集荷するの		
	も大変だと思います。高齢者の生きがいになるよう続けて頂きたい。		
	③地震計については町は地盤が固いことがわかりました。		

調査・研修等報告書

氏名	小林達信		提出年 月日	29年10月16日
調査等 名称	経済常任委員会所管事務調査			
調査等 の日時	平成29年10月12日	場所	委員会及び道の駅	
調査等 の内容	① 都市交通経済事業の実績と概要について			
	② 地震計の設置場所確認			
	③ 道の駅の集荷システムの整備状況について			
意見 感想	① 相当な実績があった。			
	② 今の所量は少ないが今後増えると思われ。			

議員派遣  
委員派遣

## 調査研修等報告書

平成 29 年 10 月 13 日

議会議長  
委員会委員長 様

提出者 小峰由久

派遣目的 (調査等 名称)	経済常任委員合所管事務調査		
派遣の 日時	平成 29 年 10 月 12 日	派遣先 (場所)	委員会室及び道の馬足はなわ
内容	1. 都市交流事業の実績と概要 2. 道の馬足集荷システムの進捗状況 3. 地震計の設置場所確認調査		
派遣 結果 (意見 及び 感想)	両事業共初めに補助金存りの 様に思う。 事業の促進、充実に活用される 補助金の支出を考えてほしい。 事業を進める中での改善等。 進行上の努力が認められない		

調査・研修等報告書

氏名	吉田 克則	提出年月日	平成 29 年 12 月 11 日
調査等名称	経済常任委員会所管事務調査		
調査等の日時	平成 29 年 10 月 12 日 10:00～	場所	委員会室及び道の駅はなわ
調査等の内容	都市交流事業の実績と概要について 道の駅集荷システムの進捗状況について 震度計の設置場所確認調査		
意見感想	<p>都市交流事業の実績と概要について</p> <p>埴町が行っている都市との交流事業実績を調査した。</p> <p>平成 26 年度 34 回実施</p> <p>平成 27 年度 37 回実施</p> <p>平成 28 年度 30 回実施</p> <p>首都圏で農産物や物産の販売で交流をしている。積極的に町の PR や風評被害払拭に向けて更なる都市交流事業を進めて欲しい。</p> <p>道の駅集荷システムの進捗状況について</p> <p>事業主体 一般財団法人天領の郷はなわ</p> <p>補助金 4,000,000 円</p> <p>事業の目的 道の駅はなわ内の農産物直売所への安定的な野菜の確保、高齢者の生きがい対策、所得向上、高齢者の見守りを図ること。</p> <p>集荷システムの利用状況は、著しく低い現状であるので利用拡大に向けて努力が必要かと思えた。高齢者の生きがい対策や高齢者の見守りに関しては現時点では機能していないようだ。</p> <p>震度計の設置場所確認調査</p> <p>町役場庁舎北側にある震度計設置場所を確認した。震度計自体は見ることは出来なかった。震度計は福島県が設置したもの。</p>		

埴町議会



議員派遣  
委員派遣

調査研修等報告書

平成 29 年 10 月 20 日

議会議長  
委員会委員長 様

提出者 高 縁 光

派遣目的 (調査等 名称)	経済常任委員会所管事務調査 ・ 打ち振興課 ・ 生活環境課 ・ 道の駅 長		
派遣の 日時	H29年10月12日(木) 午前10時	派遣先 (場所)	① 都市交流事業の実績と概要 ② 道の駅集荷システムの進捗状況について ③ 地震計の設置場所確認調査
内容	① 都市交流事業実績の説明を受ける。 H26~29年度まで ② 道の駅集荷システムの進捗状況についての説明 ③ 地震計の設置場所の確認調査 ・ 最初に17"の箱体場所駅長より説明を受ける。集荷車の 集荷には説明を受ける		
派遣 結果 (意見 及び 感想)	① 26年度経費 3,226,558 売上 1,000,5615 参加員 359人 27年度 " 2,531,339 " 9,936,357 " 323人 28 " " 2,070,353 " 9,208,680 " 292人 29 " 未定 ② ① 事業目的 ② 事業方法 ③ 利用の現状 ④ 補助金経費の内容 ⑤ 今後の展開等の説明を受ける ・ 冬野菜の減少の説明があったから多くするためには、いっしょに ③ 反対と思われれば、経費と売上げの計算が必ずかかると思われる 地震計の設置場所確認調査 ① 地震計の設置場所を見る ② 地震計の記録室を見る。 ・ 塙町の場舎地盤が堅い場所に設置されているため 外町村より震度が少ないとわかる		